

第37回 日本眼腫瘍学会

プログラム・講演抄録集

会期 2019年 9月28日(土)・29日(日)

会場 東京慈恵会医科大学
西新橋キャンパス 2号館講堂

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

会長 敷島 敬悟 東京慈恵会医科大学 眼科学講座 教授

視機能温存に向けて





The 37th Annual Meeting of Japanese Society of Ocular Oncology

第37回 日本眼腫瘍学会

プログラム・講演抄録集

視機能温存に向けて

- 会期 2019年 9月28日(土)・29日(日)
- 会場 東京慈恵会医科大学
西新橋キャンパス 2号館講堂
〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8
- 会長 敷島 敬悟 東京慈恵会医科大学 眼科学講座 教授
- 主催 日本眼腫瘍学会
- URL <http://jsoo37.umin.jp/>

第37回日本眼腫瘍学会事務局

事務局 東京慈恵会医科大学 眼科学講座
〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

運営事務局 株式会社 エヌ・プラクティス内
〒541-0046 大阪市中央区平野町1-8-13 平野町八千代ビル7F
TEL:06-6203-6731 FAX:06-6203-6730

第37回日本眼腫瘍学会

会長挨拶

会長 敷島 敬悟 東京慈恵会医科大学
眼科学講座 教授



この度、第37回日本眼腫瘍学会を開催させていただくことになりました。今回は新しい元号である令和が始まった最初の会となります。このような機会をいただき、理事の諸先生方、学会員ならびに関係各位の皆様には厚く御礼を申し上げます。

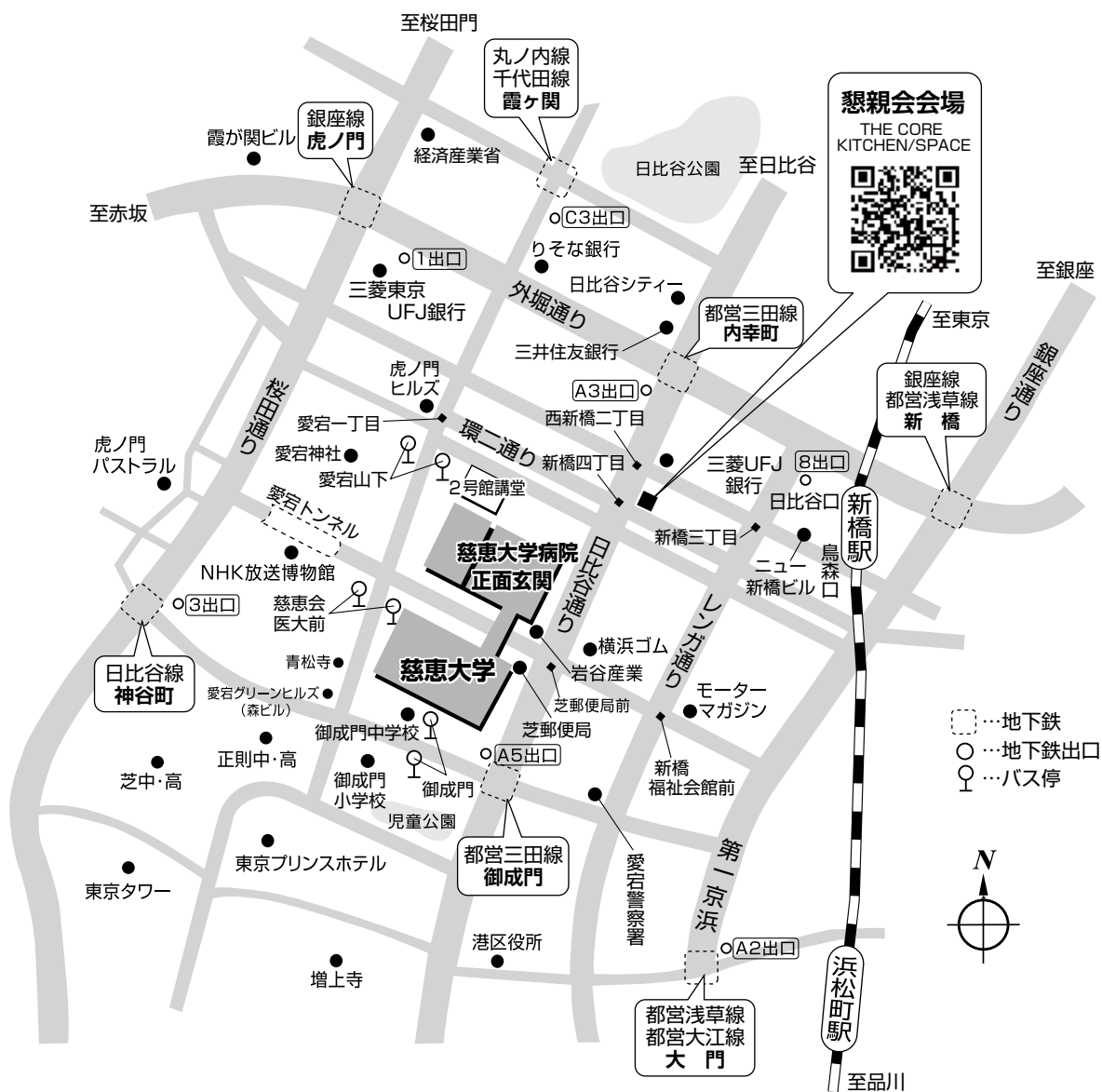
眼腫瘍学会は眼科領域における腫瘍を取り扱う領域ですが、悪性腫瘍の治療に際しては生命予後が最優先となり、視機能はどうしても軽んじられます。しかし、眼腫瘍の診療に従事する我々眼科医は生命予後を尊重しつつも、視機能温存を目指したいという気持ちを常に持ち続けています。このジレンマに我々眼腫瘍医は悩まされ、生命と視機能の両面を守るべく、日々診療を続けております。この基本的理念のもと、今回は原点である『視機能温存に向けて』を学会テーマとして掲げました。

特別講演は東京慈恵会医科大学放射線治療部 教授 青木 学先生をお招きし、「最新の高精度放射線治療の現状と役割」についてお話しを賜ります。青木先生には本学において視神経鞘髄膜腫に対するIMRTを多数例施行して頂いております。シンポジウムでは「視神経腫瘍」を取り上げました。視神経腫瘍は診断に苦慮することが多く、悪性腫瘍の頻度は少ないものの頭蓋内進展による生命予後にも関係し、視機能への影響が顕著な腫瘍となります。また、眼腫瘍を専門とされない一般眼科医や若い先生を対象に、「眼部悪性腫瘍を見逃すな！」というタイトルで教育セミナーも開催いたします。

昨年からは、日本眼腫瘍学会が中心となって、眼腫瘍の全国登録制度が開始され、さらに、希少がんである眼腫瘍の専門施設の情報公開がなされ、眼腫瘍の社会的貢献度がますます増しております。本会ではこれらの報告も予定しております。

学会当日はラグビーワールドカップが日本で開催されていますが、学会会場ではスタジアム以上に熱い討論をお願いします。そして、講演後はノーサイドでいきましょう。

会場アクセス図



会場までのアクセス

■地下鉄

- 都営三田線

- 「御成門」下車(A5出口) 徒歩約3分
「内幸町」下車(A3出口) 徒歩約10分

- 日比谷線

- 「神谷町」下車(3出口) 徒歩約7分

- 銀座線

- 「虎ノ門」下車(1 出口) 徒歩約10分

・銀座線 ・ 都営浅草線

- 「新 橋」下車(8出口) 徒歩約12分

・都営浅草線 ・ 都営大江戸線

- [大門]下車(A2出口) 徒歩約13分

・丸の内線 ・ 千代田線

- 「霞ヶ関」下車(C3出口) 徒歩約13分

■ JR 新橋駅下車 徒歩12分

浜松町駅下車 徒歩15分

■バス(交通事情により所要時間が異なることがあります)

- 都営バス／東98系統（東急バスと共同運行）
東京駅丸の内南口 ➡（目黒駅経由）➡ 等々力操車
所前 ➡「慈恵会医大前」または「愛宕山下」下車

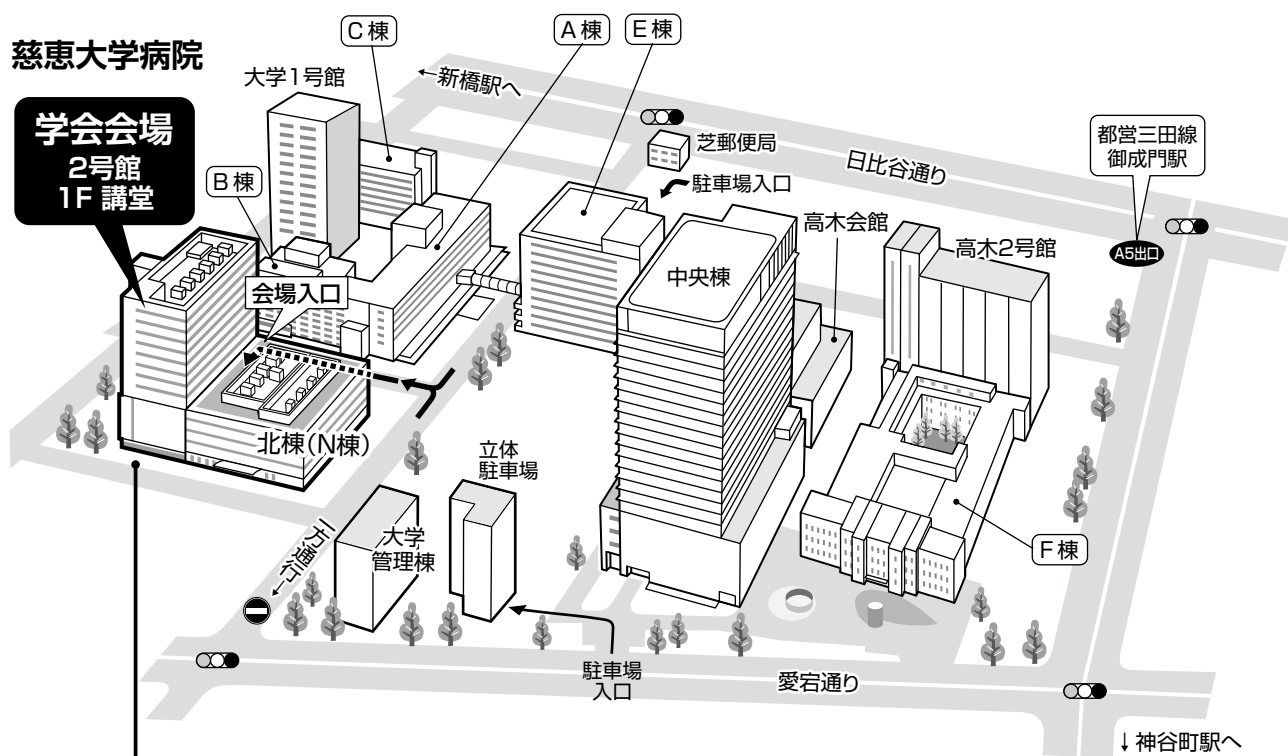
※東京駅丸の内南口バス乗り場(5番)より約20分

※1 時間に3～4本程度、運行しています

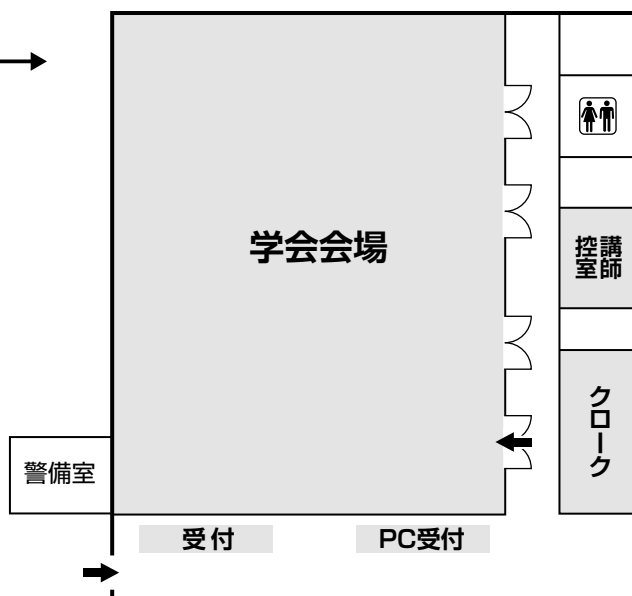
※慈恵大学病院中央棟前、愛宕下通りにバス停があります

会場案内図

キャンパスマップ



フロア案内図



参加者へのご案内

参加登録受付

受付場所	東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス 2号館講堂 会場入口
受付時間	9月28日(土) 8:30～17:20
	9月29日(日) 8:30～12:00

受付方法

〈事前登録された方〉

- ・事前に送付したネームカードを忘れずにご持参ください。受付にてネームカードホルダーをお受け取りください。
- ・講演抄録集を忘れずにご持参ください。追加の講演抄録集をご希望の場合は、受付にて1部1,000円にて販売致します。

〈当日登録される方〉

会場入口受付にて参加登録を行ってください。

参加登録費

登録区分	当日参加登録料	懇親会費
会 員	10,000 円	8,000 円
非 会 員	15,000 円	8,000 円
非医師、民間研究員	15,000 円	8,000 円
初期研修医・コメディカル、 医師以外の大学院生	5,000 円	5,000 円
大学院生を除く学生 (医学生、視能訓練士学生、留学生)	無 料	5,000 円

※会員登録は日本眼腫瘍学会ホームページからのみ受け付けております。当日に登録はできません。

※初期研修医・コメディカルの方は所属長による身分の証明が、学生および医師以外の大学院生の方は学生証の提示が必要です。予め、ホームページより指定のフォーマットをダウンロードして必要事項をご記入の上、ご持参ください。

※上記以外の登録区分の方の登録費については事務局までご連絡ください。

ネームカード

所属・氏名をご記入の上、入場の際は必ずご着用ください。ネームカードを着用されていない方の入場は、固くお断り致します。

講演抄録集

事前登録がお済みの方にはホームページにてPDF形式で配布いたします。

PDF 閲覧パスワード js002019

懇 親 会

日 時	9月28日(土) 19:00～
場 所	THE CORE KITCHEN/SPACE (コア キッチン / スペース) 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目1-1 TEL: 03-6402-5229

※事前登録がお済みの方でも、懇親会当日受付が可能です。多数のご参加をお待ちしております。

※参加費は会員、非会員、非医師・民間研究員8,000円、初期研修医・コメディカル、医師以外の大学院生、大学院生を除く学生(医学生、視能訓練士学生、留学生)5,000円です。当日申し込みも受け付けております。
総合受付にてお申し込みください。

日本眼科学会専門医制度生涯教育事業

日本眼科学会専門医制度登録証(カード)を必ずご持参ください。

受付場所	東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス 2号館講堂 会場入口
受付時間	9月28日(土) 8:30～17:20 3単位
取得単位	9月29日(日) 8:30～12:00 2単位

クローク

東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス 2号館講堂にクロークをご用意致しますのでご利用ください。

受付場所	東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス 2号館講堂 会場入口 クローク受付
受付時間	9月28日(土) 8:30～19:00 9月29日(日) 8:30～13:00

※必ず時間内にお受け取りください。

※貴重品のお預かりはできません。各自で管理をお願いします。

会場でのご注意

会場内での録音、写真撮影およびビデオ撮影はご遠慮ください。

会場内では携帯電話、スマートフォンはマナーモードに切り替えるか、電源をお切りください。

会場内は飲食不可です(ランチョンセミナー開催時を除く)。飲食はホワイエでお願いいたします。

関連会議

日本眼腫瘍学会 理事会	日 時: 9月28日(土) 12:15～13:15 会 場: 東京慈恵会医科大学 2号館 9F 901
日本眼腫瘍学会 総会	日 時: 9月28日(土) 13:25～13:35

共催セミナー

ランチョンセミナーではお弁当をご用意いたします。

数に限りがございますので、あらかじめご了承ください。なお、整理券の配布はいたしません。

駐 車 場

学会専用の駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用ください。

講演規定

本学会の講演はデジタルプレゼンテーション [1面] による発表のみとなります。

講演時間

一般口演の発表時間は、発表6分、質疑応答4分、計10分です。

特別講演、シンポジウム、教育セミナー、ランチョンセミナーは指定された時間をお願いします。
時間厳守をお願い致します。

進 行

発表は、ご自身で演台上にてマウスとキーボードを操作して行ってください。PC を持込みの場合でも、PC 本体は演台上にはありませんので、PowerPoint の発表者ツールや Keynote の発表者ディスプレイ機能は使用できません。

演者は、座長の指示のもと口演を行ってください。

座長は、セッション開始10分前までに次座長席にお着きください。

演者は、発表開始10分前までに次演者席にお着きください。

利益相反に関して

今回の学会発表の内容に関する利益相反について、ホームページのサンプルを参考に発表時に2枚目(タイトルの次)のスライドにて開示してください。

デジタルプレゼンテーションに関するご案内

[講演データ持参の場合 (Windows のみ)]

会場に設置される機材のスペックは下記の通りです。

アプリケーション：PowerPoint 2010～2016

推奨フォント：Windows 版 MS 明朝／MS ゴシック／Times New Roman／Century

講演データは作成に使用した PC 以外の PC で動作確認をしてからお持ちください。

解像度を XGA (1024 × 768) にあわせてレイアウトの確認をしてください。

保存時のデータファイル名は「演題番号_演者氏名.ppt」「演題番号_演者氏名.pptx」としてください。

システムの都合で、PowerPoint の発表者ツールはご使用できません。

講演データは USB メモリか CD-R で持参してください。

事前に講演データ、および持参するメディアのウイルスチェックを必ず行ってください。

講演データは PC 受付にて事務局が用意したパソコンに一旦コピーさせていただきます。

お預かりしたメディアは受付後にご返却いたしますが、念のため、発表時にご持参ください。

コピーした講演データは学会終了後、事務局が責任を持って消去いたします。

[PC をお持込みになる場合 (Windows、Macintosh とも可能)]

Mac でご発表の場合、及び講演データに動画を含む場合は、ご自身の PC をお持ち込みください。

持込み PC は PC 本体にミニ D-sub15 ピン外部出力コネクタと HDMI を使える物に限ります。
変換コネクタを必要とする場合は、必ずご自身でご用意ください。

AC アダプターは必ずご持参ください。

省電力設定、スクリーンセーバー、ウイルスチェックは、予め解除しておいてください。

スリープからの復帰時、起動時のパスワードは解除しておいてください。

万一来てて、バックアップ用データ（USB メモリ、CD-R など）もご持参ください。

PC 受付にて試写終了後、発表終了後にご返却いたします。

タブレット端末でのご発表はできません。

[データの受付]

• PC 受付

PC 受付は講演会場前となります。

必ず PC 受付にて受付をお済ませください。

PC 本体持込みの場合も動作確認のために必ずお立ち寄りください。

• データ受付時間

2019年9月28日（土）8:30～16:30（翌日のデータも受け付けます）

2019年9月29日（日）8:30～11:00

講演開始1時間前（早朝に発表される方は30分前）までにデータをご提出ください。

スライド作成における注意事項

スライドは参加者が容易に理解できるように作成してください

[スライドの文字数]

1枚のスライドに多くの文字を配置する込み入ったスライドはお避けください。

[スライド提示時間と講演内容]

スライドに掲載されている内容を把握するのに十分な提示時間と講演内容のバランスに配慮してください。

[字詰まりスライドを避ける]

字詰まりスライドは判読が困難です。

[使用する色ならびに混合色への配慮]

1枚のスライドに多数の色を使用することは避けてください。背景色と文字とのコントラストが十分にあるものにしてください。

討論者の方へ

討論時間は4分です。討論者は予め会場内の討論用マイクの近くでお待ちください。

セッションの進行状況により、討論がキャンセルされることがありますので、ご了承ください。

日本眼腫瘍学会役員一覧

役職別 50 音順 (2019 年 7 月現在)

名誉会員 (敬称略)
雨宮 次生
猪俣 孟
上野 脩幸
大西 克尚
沖坂 重邦
金子 明博
玉井 信
松尾 信彦
箕田 健生
物故会員
加藤桂一郎

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	古田 実	福島県立医科大学
理 事	安積 淳	神戸海星病院
理 事	江口 功一	江口眼科医院／新潟大学
理 事 (監 事)	大島 浩一	国立病院機構岡山医療センター
理 事	大湊 絢	新潟大学
理 事 (学術・広報)	小幡 博人	埼玉医科大学総合医療センター
理 事	加瀬 諭	北海道大学
理 事	嘉島 信忠	聖隷浜松病院
理 事 (監 事)	兒玉 達夫	島根大学
理 事	後藤 浩	東京医科大学
理 事	敷島 敬悟	東京慈恵会医科大学
理 事 (学術・広報)	鈴木 茂伸	国立がん研究センター中央病院
理 事	高橋 寛二	関西医科大学
理 事	高比良雅之	金沢大学
理 事	高村 浩	公立置賜総合病院／山形大学
理 事	辻 英貴	がん研究会有明病院
理 事	林 暢紹	須崎くろしお病院／高知大学
理 事	溝田 淳	帝京大学
理 事	吉川 洋	宗像眼科クリニック／九州大学
理 事	渡辺 彰英	京都府立医科大学
顧 問	中村 泰久	愛知医科大学
顧 問	八子 恵子	北福島医療センター
顧 問	小島 孚允	小島眼科医院／さいたま赤十字病院

学会の歴史

回	会 期	会 場	会 長
第 1 回	1983 年 (S58) 6 月 10 日	富山医科薬科大学病院	中村 泰久 富山医科薬科大学
第 2 回	1984 年 (S59) 10 月 20 日	京大会館	雨宮 次生 京都大学
第 3 回	1985 年 (S60) 9 月 7 日	九大同窓会館	猪俣 孟 九州大学
第 4 回	1986 年 (S61) 8 月 16 日	順大有山記念講堂	沖坂 重邦 防衛医科大学
第 5 回	1987 年 (S62) 9 月 20 日	福島グリーンパレス	加藤桂一郎 福島県立医科大学
第 6 回	1988 年 (S63) 9 月 4 日	国際研究交流会館	金子 明博 国立がんセンター
第 7 回	1989 年 (H1) 11 月 18 日	岡大医学部図書館	松尾 信彦 岡山大学
第 8 回	1990 年 (H2) 7 月 27 日	仙台市民会館	玉井 信 東北大学
第 9 回	1991 年 (H3) 8 月 2 日	北大学術交流会館	松田 英彦 北海道大学
第 10 回	1992 年 (H4) 6 月 20 日	幕張メッセ国際会議場	箕田 健生 帝京大学市原
第 11 回	1993 年 (H5) 10 月 6 日	長崎大学医学部記念講堂	雨宮 次生 長崎大学
第 12 回	1994 年 (H6) 9 月 26 日	九大同窓会館	猪俣 孟 九州大学
第 13 回	1995 年 (H7) 8 月 10～11 日	高知県教育会館	上野 脩幸 高知医科大学
第 14 回	1996 年 (H8) 10 月 5 日	興和ビル大ホール	沖坂 重邦 防衛医科大学
第 15 回	1997 年 (H9) 10 月 25 日	裏磐梯猫魔ホテル	加藤桂一郎 福島県立医科大学
第 16 回	1998 年 (H10) 9 月 5 日	国際研究交流会館	金子 明博 国立がんセンター
第 17 回	1999 年 (H11) 9 月 25 日	大宮ソニックシティホール	小島 孚允 大宮赤十字病院
第 18 回	2000 年 (H12) 6 月 23 日	仙台市民会館	玉井 信 東北大学
第 19 回	2001 年 (H13) 9 月 1～2 日	ホテルコンコルド浜松	中村 泰久 聖隷浜松病院
第 20 回	2002 年 (H14) 9 月 14 日	和歌山県立医科大学病院	大西 克尚 和歌山県立医科大学
第 21 回	2003 年 (H15) 10 月 9 日	岡山コンベンションセンター	大島 浩一 岡山医療センター
第 22 回	2004 年 (H16) 7 月 17 日	高知市文化プラザ	上野 脩幸 高知大学
第 23 回	2005 年 (H17) 6 月 25 日	新潟県医師会館大講堂	江口 功一 新潟大学
第 24 回	2006 年 (H18) 7 月 28 日	札幌医科大学記念ホール	大塚 賢二 札幌医科大学
第 25 回	2007 年 (H19) 9 月 29 日	大阪赤十字病院 4F 講堂	柏井 聡 大阪赤十字病院
第 26 回	2008 年 (H20) 11 月 22 日	東京医科大学 6 階臨床講堂	後藤 浩 東京医科大学
第 27 回	2009 年 (H21) 6 月 20 日	山形大学医学部同窓会館	高村 浩 山形大学
第 28 回	2010 年 (H22) 9 月 25 日	アクトシティ浜松コンgresセンター	嘉島 信忠 聖隷浜松病院
第 29 回	2011 年 (H23) 6 月 25～26 日	コラッセふくしま	古田 実 福島県立医科大学
第 30 回	2012 年 (H24) 6 月 30 日～7 月 1 日	栃木県総合文化センター	小幡 博人 自治医科大学
第 31 回	2013 年 (H25) 9 月 14～15 日	高知市総合あんしんセンター	林 暢紹 須崎くろしお病院／高知大学
第 32 回	2014 年 (H26) 7 月 11～12 日	静岡県浜松市プレスタワー 静岡新聞ホール	辻 英貴 がん研有明病院
第 33 回	2015 年 (H27) 10 月 3～4 日	くにびきメッセ	兒玉 達夫 島根大学
第 34 回	2016 年 (H28) 10 月 1～2 日	シマブンビル	安積 淳 神戸海星病院
第 35 回	2017 年 (H29) 9 月 23～24 日	両国 KFC ホール	溝田 淳 帝京大学
第 36 回	2018 年 (H30) 11 月 3～4 日	金沢市アートホール	高比良雅之 金沢大学
第 37 回	2019 年 (R1) 9 月 28～29 日	東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス 2 号館講堂	敷島 敬悟 東京慈恵会医科大学

日本眼腫瘍学会会則 Japanese Society of Ocular Oncology (JSOO)

第1章 総則

(名 称)

第1条 本会は日本眼腫瘍学会 (Japanese Society of Ocular Oncology, JSOO) と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を福島県立医科大学眼科学講座 (〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地) に置く。理事会の承認を得たうえで、会計業務など運営の一部を学会運営業者に委託することができる。

第2章 目的および事業

(目 的)

第3条 本会は眼腫瘍に関する最新の情報交換と会員相互の研鑽を目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。

- (1) 総会の開催
- (2) 会誌の発行
- (3) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員

(種 別)

第5条 本会の会員は、眼腫瘍に興味を持つ眼科医 (研修医を含む) およびその他の関係者をもって構成する。

- (1) 正会員
- (2) 名誉会員
- (3) 賛助会員

(入 会)

第6条 入会を希望する者は、所定の入会申込書に年会費を添えて本会事務局に提出し、理事会の承認を得なければならない。

第7条 正会員は眼腫瘍の研究または診療に従事している者で、第6条の手続きを完了した者とする。

第8条 名誉会員は、眼腫瘍研究の発展に特に功績のあった者で、理事会が推薦し、決定する。

第9条 賛助会員は、本会の事業を奨助するため所定の賛助会費を納入する団体および個人とする。

(入会員および会費)

第10条 正会員の年会費は5,000円とする。なお、賛助会員の年会費は50,000円とする。

第11条 名誉会員は年会費を免除する。

(資格の喪失)

第12条 会員が次の各号に該当した場合は、その資格を喪失するものとする。

- (1) 退会したとき
- (2) 理事会の議決によって除名されたとき

(退 会)

第13条 会員が退会する場合には、事前にその旨を本会事務局に届け出なければならない。

(除 名)

第14条 会員が次の各号に該当するときは、理事会の議決により退会させることがある。

- (1) 本会会員として著しく品位を欠く行為があったとき
- (2) 会費を3年以上滞納したとき

第4章 役員

(役 員)

第15条 本会に正会員の中から次の役員をおく。

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 理 事 長 | 1名 |
| (2) 理 事 | 若干名 |
| (3) 監事担当理事 | 2名 |
| (4) 学術・広報担当理事 | 2名 |
| (5) 総 会 長 | 1名 |
| (6) 顧 問 | 若干名 |

(理 事)

第16条 理事は理事会を構成し、会の運営に必要な諸事項を審議決定する。

第17条 理事長は理事の互選によって選出される。理事長は本会を代表し、会務を掌握し、理事会を招集する。理事長は収支予算および決算、役員人事など主な会務について、総会もしくはその他の方法により、会員に報告しなければならない。

(監事担当理事)

第18条 監事担当理事は理事会で理事の中から選出される。監事担当理事は本会の財産、会計および会務の執行を監査し、理事会において意見を述べることができる。

(学術・広報担当理事)

第19条 学術・広報担当理事は理事会で理事の中から選出される。学術・広報担当理事は会誌の発行、投稿論文の査読、広報業務などを行う。

(総会長)

第20条 総会長は理事会で選出される。総会長は当該年度の総会運営に当たる。

(顧問)

第21条 顧問は、眼腫瘍研究の発展に特に功績のあった者で、理事会が推薦し、決定する。
顧問は、本学会の運営が適正に行われるよう理事会等において指導する立場にある。

(役員の任期と欠員について)

第22条 理事長、理事、監事担当理事、学術・広報担当理事の任期は3年間とする。
理事長は連続して再任されない。理事、監事担当理事、学術・広報担当理事は再任を妨げない。
理事の年齢は65歳を超えないこととする。
役員に欠員が生じた場合の補充とその方法については、理事会でこれを決定する。
総会長の任期は担当する総会が終了するまでとし、次年度総会長にその職務を引き継ぐものとする。
総会長は連続して就任することはできない。
ただし、再任を妨げない。

第5章 総会・理事会

(総会)

第23条 原則として総会を毎年1回開催する。開催時期は理事会と総会長の合議で決定する。
総会での筆頭演者は本学会員でなければならない。
総会長は会員以外の者を総会に招請し、総会で発表させることができる。

(理事会)

第24条 理事会は理事をもって組織し、原則として総会期間中に以下の事項を審議する。
なお、理事会には理事長、総会長の承認を経て、関係者の参加を許可することがある。
(1) 毎年度の事業および会計
(2) その他、理事会が必要と認めた事項
(3) 理事会は理事の3分の2以上の出席をもって成立する。
ただし、予め委任状を提出した者は出席者とみなす。
(4) 理事会の審議は出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは理事長の決するところによる。

(5) 臨時に審議する必要のある事項に関して、理事長は全理事に持ち回り審議を依頼し、上記(3)(4)の決定方法に準拠して決する。

第6章 会計

(会計年度)

第25条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了とする。

(事務局の経費)

第26条 本会の事務局の運営に要する経費は年会費をもってこれに充てる。

(総会の運営費)

第27条 総会の運営費は総会の都度、参加費などを徴収してこれに充てる。
参加費の額は年度毎に総会長が決定する。
会員以外の講演者を総会に招請した場合、総会長もしくは理事会の裁量により、参加費を免除することがある。

(事業計画書および収支予算書の作成)

第28条 事業の円滑な運営のため、理事長は事業計画書および収支予算書を毎会計年度開始前に作成し、理事会の承認を得て確定する。

(予備費の計上と使用)

第29条 予算年度内に生じる予測しがたい支出に対応するため、予算規模に見合った予備費を計上する。

第30条 予備費の使用に当たっては、使用理由と金額、および積算の根拠を明らかにした上で、理事長と理事会の承認が必要である。

第7章 会則の変更

(会則の変更)

第31条 この会則は理事会の議決を経て変更することができる。

[附 則]

この会則は平成22年10月10日から施行する。

変更履歴

平成26年7月11日 理事長変更による事務局の変更

平成29年9月23日 理事長変更による事務局の変更

平成30年11月3日 理事会の持ち回り審議と収支予算書と予備費の計上の新設

平成30年11月14日 理事および顧問の定義の明文化
最終変更日：平成30年11月14日

日 程 表

1日目 9月28日(土) 東京慈恵会医科大学
西新橋キャンパス 2号館講堂

9:00	8:50～ 開 会 式	
10:00	9:00～10:10 一般口演 1 01～07 [眼内腫瘍] 座長：鈴木 茂伸 (国立がん研究センター中央病院) 高橋 寛二 (関西医科大学)	
11:00	10:10～11:10 一般口演 2 08～13 [眼内リンパ腫] 座長：古田 実 (福島県立医科大学) 溝田 淳 (帝京大学)	
12:00	11:10～12:00 一般口演 3 14～18 [眼瞼腫瘍 I] 座長：高比良 雅之 (金沢大学) 林 暢紹 (須崎くろしお病院/高知大学)	
13:00	12:15～13:15 ランチョンセミナー 難治性眼疾患に挑む！～視機能温存に向けて～ 座長：中野 匡 (東京慈恵会医科大学) 演者：池田 康博 (宮崎大学) 外園 千恵 (京都府立医科大学) 共催：参天製薬株式会社	12:15～ 13:15 理事会
14:00	13:25～13:35 総 会	
	13:35～13:50 眼腫瘍登録報告	
15:00	13:50～14:40 一般口演 4 19～23 [IgG4・リンパ腫] 座長：大島 浩一 (国立病院機構岡山医療センター) 安積 淳 (神戸海星病院)	
16:00	14:40～15:30 一般口演 5 24～28 [眼窩腫瘍 I] 座長：嘉島 信忠 (聖隷浜松病院) 渡辺 彰英 (京都府立医科大学)	
	15:30～16:20 一般口演 6 29～33 [眼窩腫瘍 II] 座長：兒玉 達夫 (島根大学) 大湊 絢 (新潟大学)	
17:00	16:30～17:25 シンポジウム [視神経腫瘍] 座長：辻 英貴 (がん研究会有明病院) 敷島 敬悟 (東京慈恵会医科大学)	
18:00	17:30～18:30 特別講演 最新の高精度放射線治療の現状と役割 座長：敷島 敬悟 (東京慈恵会医科大学) 演者：青木 学 (東京慈恵会医科大学 放射線医学講座)	
19:00	19:00～ 懇 親 会 会場：THE CORE KITCHEN / SPACE (コアキッチン/スペース)	

2日目 9月29日(日) 東京慈恵会医科大学
西新橋キャンパス 2号館講堂

9:00	9:00～10:00 一般口演 7 34～39 [眼瞼腫瘍 II] 座長：小幡 博人 (埼玉医科大学総合医療センター) 高村 浩 (公立置賜総合病院/山形大学)
10:00	10:00～11:00 一般口演 8 40～45 [結膜腫瘍] 座長：吉川 洋 (宗像眼科/九州大学) 加瀬 諭 (北海道大学)
11:00	11:10～12:10 教育セミナー 眼部悪性腫瘍を見逃すな！ 座長：後藤 浩 (東京医科大学) 江口 功一 (江口眼科医院/新潟大学) 眼瞼腫瘍・結膜腫瘍 演者：吉川 洋 (宗像眼科/九州大学) 眼内悪性腫瘍を見逃すな！ 演者：鈴木 茂伸 (国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科)
12:00	12:10～12:20 閉会式・次期会長挨拶

会場：東京慈恵会医科大学 2号館 9F 901

鈴木 茂伸 (国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科)

視神経乳頭腫瘍

演者：古田 実 (福島県立医科大学 眼科)

視神経鞘髄膜腫

演者：笹野 紘之 (東京慈恵会医科大学附属病院 眼科)

視神経膠腫 Optic pathway glioma の 診断と治療：生命予後と機能予後

演者：柳澤 隆昭 (東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座)

プログラム

第1日目 2019年9月28日(土)

開会式 8:50～

一般口演1 9:00～10:10

[眼内腫瘍]

座長：鈴木 茂伸(国立がん研究センター中央病院)
高橋 寛二(関西医科大学)

01 網膜前膜を伴う網膜色素上皮腺腫に対して硝子体手術を行い視力改善した1例

○秋山 雅人¹⁾、田邊 美香¹⁾、向野 利一郎¹⁾、石川 桂次郎¹⁾、上笹貫 太郎²⁾、伊地知 佳代³⁾、
孝橋 賢一³⁾、吉川 洋¹⁾、園田 康平¹⁾

1)九州大、2)鹿児島大、3)九州大 形態機能病理学

02 急激に増大したと考えられた眼球内 schwannoma の1例

○中山 知倫、渡辺 彰英、外園 千恵

京都府医大

03 小切開硝子体手術併用経強膜脈絡膜腫瘍摘出術を施行した悪性黒色腫の1例

○加瀬 諭、石田 晋

北海道大

04 全エキソン解析を実施した、眼球摘出1年7か月後に全身転移した脈絡膜悪性黒色種の1例

○柏木 広哉¹⁾、吉川 周佐²⁾、尾上 剛士³⁾、伊藤 以知朗⁴⁾、水口 魔己⁵⁾、浦上 研一⁵⁾、
山口 建⁵⁾、宮道 大督⁶⁾

1)県立静岡がんセンター、2)県立静岡がんセンター 皮膚科、3)県立静岡がんセンター 放射線、
4)県立静岡がんセンター 病理、5)県立静岡がんセンター研究所、6)聖隷三方原眼科

05 神戸海星病院のぶどう膜黒色腫治療成績

○井之上 杏奈、安積 淳

神戸海星病院

06 転移性脈絡膜腫瘍に対して網膜下内視鏡手術を利用した局所摘出術を行った1症例

○加賀 達志

JCHO 中京病院 眼科

07 転移性虹彩腫瘍に対するレーザー光凝固(PC)と経瞳孔温熱療法(TTT)

○佐藤 大介、田中 啓一郎、大口 泰治、古田 実、石龍 鉄樹

福島県医大

一般口演2 10:10～11:10

[眼内リンパ腫]

座長：古田 実(福島県立医科大学)
溝田 淳(帝京大学)

08 視神経炎との鑑別を要した乳頭腫脹型眼内悪性リンパ腫の1例

○野間 沙樹、三澤 宣彦、田上 瑞記、本田 茂

大阪市大

09 ぶどう膜 MALT リンパ腫の1例

○鈴木 茂伸、伊沢 英知
国立がん研究センター 眼腫瘍科

10 原発性眼内 NK/T-cell lymphoma の1例

○大口 泰治、新竹 広晃、小島 彰、古田 実、石龍 鉄樹
福島県医大

11 眼内リンパ腫における採血結果および硝子体中サイトカイン濃度を用いたクラスター解析

○坪田 欣也、臼井 嘉彦、後藤 浩
東京医大

12 機械学習を用いた硝子体液中の免疫液性因子解析による眼内リンパ腫の識別検討

○襦津 直也¹⁾、臼井 嘉彦¹⁾、坪田 欣也¹⁾、朝蔭 正樹¹⁾、山川 直之¹⁾、黒田 雅彦²⁾、
齋藤 彰³⁾、杉本 昌弘⁴⁾、後藤 浩¹⁾
1)東京医大、2)東京医大 分子病理学分野、3)東京医大 人工知能医応用医療講座、
4)東京医大 低侵襲医療開発総合センター

13 眼内リンパ腫患者硝子体液および血清中における網羅的 miRNA 解析

○臼井 嘉彦¹⁾、朝蔭 正樹¹⁾、襦津 直也¹⁾、清水 広之¹⁾、成松 明知¹⁾、坪田 欣也¹⁾、
馬詰 和比古¹⁾、後藤 浩¹⁾、黒田 雅彦²⁾
1)東京医大、2)東京医大 分子病理学分野

一般口演3 11:10~12:00

[眼瞼腫瘍 I]

座長：高比良 雅之(金沢大学)
林 暢紹(須崎くろしお病院/高知大学)

14 肉眼的 Pajetoid Spread を伴う脂腺癌の3症例

○安積 淳
神戸海星病院

15 眼窩先端部に perineural spread を認めた眼瞼脂腺癌の1例

○松田 弘道¹⁾、敷島 敬悟¹⁾、石田 勝大²⁾、佐藤 峻³⁾
1)東京慈恵医大、2)東京慈恵医大 形成外科、3)東京慈恵医大 病理学講座

16 二期的再建術を行った眼瞼悪性腫瘍の術後成績

○伊東 崇子¹⁾、加瀬 諭¹⁾、石嶋 漢²⁾、水門 由佳¹⁾、石田 晋¹⁾
1)北海道大、2)中川眼科

17 眼瞼脂腺癌の再建術式と再発、転移との関連

○渡辺 彰英、中山 知倫、丸橋 歩美、外園 千恵
京都府医大

18 眼瞼脂腺癌3例のエクソーム解析

○左野 裕介、秋山 雅人、藤井 裕也、関 瑛子、山名 佳奈子、田邊 美香、吉川 洋、
園田 康平
九州大

〔 難治性眼疾患に挑む！～視機能温存に向けて～ 〕

講演1 網膜色素変性の視機能温存に挑む

池田 康博 宮崎大学

講演2 難治性角結膜疾患の視機能温存に挑む

外園 千恵 京都府立医科大学

〔 眼腫瘍全国登録(JCOTS) 初年度報告 〕

鈴木 茂伸 国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科

〔 IgG4・リンパ腫 〕

座長：大島 浩一（国立病院機構岡山医療センター）
安積 淳（神戸海星病院）

19 IgG4関連眼疾患による視力低下

○田中 啓一郎、佐藤 大介、大口 泰治、古田 実、石龍 鉄樹
福島県医大

20 IgG4陽性 MALT リンパ腫の2症例

○中澤 和樹¹⁾、高比良 雅之¹⁾、濱岡 祥子¹⁾、満保 祐己¹⁾、繰納 勉²⁾、杉山 和久¹⁾
1)金沢大、2)恵寿金沢病院 眼科

21 IgG4関連眼疾患の治療経過中に複数の悪性リンパ腫を発症した1例

○曽根 久美子¹⁾、馬詰 和比古¹⁾、林 映²⁾、片桐 誠一郎³⁾、鈴木 茂伸⁴⁾、後藤 浩¹⁾
1)東京医大、2)東京医大 膠原病内科、3)東京医大 血液内科、4)国立がん研究センター 眼科

22 眼付属器リンパ腫に対する FDG-PET 検査における 最大標準化取り込み値(SUVmax)の検討

○船津 治彦¹⁾、田邊 美香¹⁾、秋山 雅人¹⁾、山名 佳奈子¹⁾、高木 健一¹⁾²⁾、関 瑛子¹⁾、
左野 裕介¹⁾、吉川 洋¹⁾、園田 康平¹⁾
1)九州大、2)国立病院機構 小倉医療センター

23 RNA シークエンスによる IgG4 関連眼疾患における遺伝子解析 (第2報)

○朝蔭 正樹、臼井 嘉彦、小川 麻里奈、欄津 直也、清水 広之、坪田 欣也、山川 直之、
馬詰 和比古、後藤 浩
東京医大

一般口演5 14:40~15:30

[眼窩腫瘍Ⅰ]

座長：嘉島 信忠 (聖隷浜松病院)
渡辺 彰英 (京都府立医科大学)

24 涙腺アミロイドーシスの1例

○永井 騰是也¹⁾、柚木 達也¹⁾、奥野 のり子²⁾、林 篤志¹⁾
1) 富山大、2) 富山大 病理

25 若年者に生じた眼窩限局型多発血管炎性肉芽腫症の1例

○大湊 絢¹⁾、張 大行¹⁾、福地 健郎¹⁾、高村 紗由里²⁾、佐々木 嵩暢³⁾、梅津 哉⁴⁾
1) 新潟大、2) 新潟大 腎・膠原病内科、3) 新潟大 耳鼻咽喉・頭頸部外科、
4) 新潟大学医歯学総合病院 病理部

26 急な転帰を辿った多形腺腫源癌の1症例

○高比良 雅之、濱岡 祥子、竹本 大輔、杉山 和久
金沢大

27 経鼻的眼窩内腫瘍の適応

○鈴木 智成、田端 晋也、白畑 充章、安達 淳一、三島 一彦、西川 亮
埼玉医大 国際医療セ 脳神経外科

28 眼窩内腫瘍に対する内視鏡下経鼻的アプローチ方法の検討

○大村 和弘、鴻 信義
慈恵医大 耳鼻咽喉科

一般口演6 15:30~16:20

[眼窩腫瘍Ⅱ]

座長：兒玉 達夫 (島根大学)
大湊 絢 (新潟大学)

29 診断に苦慮した視神経腫瘍の1例

○高鉦 広章¹⁾、上田 幸典¹⁾、山中 亜規子¹⁾²⁾、高橋 めぐみ¹⁾、土居 亮博¹⁾、嘉島 信忠¹⁾³⁾
1) 聖隷浜松病院 眼形成眼窩外科、2) 京都府医大、3) 大浜第一病院 眼形成眼窩外科

30 左眼固視不良より発見された小児髄膜腫の1例

○友寄 乃裕¹⁾、酒井 浩之¹⁾、太根 ゆさ¹⁾、大山 健一²⁾、笹島 ゆうこ³⁾、溝田 淳¹⁾
1) 帝京大、2) 帝京大 脳外、3) 帝京大 病理

31 神戸海星病院で眼窩内髄膜腫と診断した症例の検討

○中鉢 亜弥、安積 淳
神戸海星病院

32 聖隷浜松病院眼形成眼窩外科における眼窩内腫瘍摘出術および生検術の統計学的検討

○山中 亜規子¹⁾²⁾、上田 幸典¹⁾、高嶽 広章¹⁾、高橋 めぐみ¹⁾、土居 亮博¹⁾、嘉島 信忠¹⁾

1) 聖隷浜松病院 眼形成眼窩外科、2) 京都府医大

33 眼症状を主訴に診断に至った小児腫瘍性疾患32例の機能予後の検討

○山岡 正慶¹⁾、本多 隆也¹⁾、秋山 政晴¹⁾、野中 雄一郎²⁾、柳澤 隆昭²⁾、敷島 敬悟³⁾

1) 慈恵医大 小児科、2) 慈恵医大 脳神経外科、3) 慈恵医大

シンポジウム 16:30～17:25

座長：辻 英貴（がん研究会有明病院）

敷島 敬悟（東京慈恵会医科大学）

〔 視神経腫瘍 〕

S1 視神経乳頭腫瘍

古田 実 福島県立医科大学 眼科

S2 視神経鞘髄膜腫

笹野 紘之 東京慈恵会医科大学附属病院 眼科

S3 視神経膠腫 Optic pathway glioma の診断と治療：生命予後と機能予後

柳澤 隆昭 東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座

特別講演 17:30～18:30

座長：敷島 敬悟（東京慈恵会医科大学）

〔 最新の高精度放射線治療の現状と役割 〕

青木 学 東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

懇 親 会 19:00～

THE CORE KITCHEN/SPACE（コアキッチン / スペース）

第2日目 2019年9月29日(日)

一般口演7 9:00～10:00

[眼瞼腫瘍Ⅱ]

座長：小幡 博人(埼玉医科大学総合医療センター)

高村 浩(公立置賜総合病院/山形大学)

34 下眼瞼の皮下腫瘍を初発症状としたサルコイドーシスの1例

○今川 幸宏¹⁾、高木 麻衣¹⁾、森田 耕輔¹⁾、松浦 峻行¹⁾、三村 真士¹⁾³⁾、佐藤 文平²⁾、
池田 恒彦³⁾

1)大阪回生病院 眼形成手術センター、2)大阪回生病院 眼科、3)大阪医大

35 眼部外毛根鞘腫の2例

○高木 健一¹⁾²⁾、吉川 洋²⁾、田邊 美香²⁾、中山 正道³⁾、熊野 誠也¹⁾、喜多 岳志¹⁾、
園田 康平¹⁾

1)小倉医療センター 眼科、2)九州大、3)小倉医療センター 臨床検査科

36 高度貧血を伴った眼瞼結膜扁平上皮癌の1例

○山本 拓人、馬詰 和比古、後藤 浩
東京医大

37 生検で筋上皮癌が疑われた、眼瞼基底細胞癌の1例

○末岡 健太郎¹⁾、織田 麻琴²⁾、木内 良明¹⁾

1)広島大、2)広島大 病理診断科

38 上眼瞼に発生した未分化大細胞型リンパ腫の1例

○小島 孚允
小島眼科

39 眼瞼腫脹を契機に診断に至った脈管肉腫の2例

○向坂 親蔵¹⁾²⁾、山名 佳奈子¹⁾、今山 修平⁴⁾、膳所 葉保子³⁾、田邊 美香¹⁾、吉川 洋¹⁾、
園田 康平¹⁾

1)九州大、2)飯塚病院 眼科、3)九州大 皮膚科、4)今山修平クリニック & ラボ

一般口演8 10:00～11:00

[結膜腫瘍]

座長：吉川 洋(宗像眼科/九州大学)

加瀬 諭(北海道大学)

40 眼窩脈管奇形が疑われた巨大結膜嚢胞の1例

○水門 由佳、加瀬 諭、伊東 崇子、石田 晋
北海道大

41 巨大な結膜色素性母斑を認めた1例

○盛 秀嗣、高橋 寛二
関西医大

42 結膜下から眼窩に位置した再発性巨大毛母腫の1例

○真野 優子、松田 弘道、敷島 敬悟
東京慈恵医大

43 結膜悪性リンパ腫の臨床像を呈した良性リンパ球増殖

○辻 英貴¹⁾、吉田 淳¹⁾、竹内 賢吾²⁾

1)がん研有明病院 眼科、2)がん研がん研究所 病理部

44 結膜腫瘍の生検を契機に診断に至った T リンパ芽球性リンパ腫の1例

○菅原 莉沙、臼井 嘉彦、後藤 浩

東京医大

45 マイトマイシン点眼と冷凍凝固で完治しない眼表面悪性腫瘍に対する眼球温存療法

○大島 浩一¹⁾、神農 陽子²⁾

1)岡山医療センター 眼科、2)岡山医療センター 検査科

教育セミナー 11:10～12:10

座長：後藤 浩（東京医科大学）

江口 功一（江口眼科医院／新潟大学）

〔 眼部悪性腫瘍を見逃すな！ 〕

ES1 眼瞼腫瘍・結膜腫瘍

吉川 洋 宗像眼科・九州大学

ES2 眼内悪性腫瘍を見逃すな！

鈴木 茂伸 国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科

閉会式・次期会長挨拶 12:10～12:20

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

特別講演 抄 録

SL

最新の高精度放射線治療の現状と役割

青木 学(あおき まなぶ)

東京慈恵会医科大学 放射線医学講座



略 歴

1988年	東京慈恵会医科大学 卒業
1990年	癌研究会付属病院 放射線治療科
1993年	ハーバード大学 放射線腫瘍科
1994年	東京慈恵会医科大学 放射線科 助手
1999年	フロリダ大学および シアトル前立腺研究所
2005年	放射線医学講座 講師
2010年	放射線医学講座 准教授 および診療副部長
2015年	放射線治療部 診療部長
2016年	放射線医学講座 教授 (専門：放射線治療)
2019年	現在に至る

放射線治療の歴史はおよそ120年前に遡ることが出来るが、リニアックの開発は1950年代であり、根治的な放射線治療法の確立は1970年代に入ってからとなる。同時期に出現したCTによって体内の構造および病変の同定が可能となるが、CTの放射線治療への応用までにはさらに20年を要した。その後コンピュータ技術の革新的な進歩によって、2000年代に入ると3次元治療計画とともにミリ単位の精度で放射線治療が施行出来るIMRT(強度変調放射線治療)が可能となり、さらには主に頭蓋内病変に対する定位放射線治療が開発された。現代では呼吸などによる正常組織および病変の体内移動を追跡しながら放射線治療を行えるIGRT(画像誘導放射線治療)や時間軸を考慮した四次元放射線治療まで開発され、世界的に普及し始めている。放射線治療の眼科領域における適応疾患には、古くから行われている甲状腺眼症の他に、眼窩悪性リンパ腫、眼瞼結膜腫瘍、悪性黒色腫などがある。現在では最新の高精度放射線治療技術を応用して脈絡膜血管腫や視神経鞘髄膜腫などが治療され始めている。これまでの100年に及ぶ放射線治療の経験によって眼科領域の正常組織の耐容線量が明らかとなっており、多岐にわたる視機能を温存することが可能な新たな放射線治療の応用が期待される。放射線治療の基本原則から長年に渡る様々な進歩とともに、新たな適応についても報告する予定である。

【利益相反】なし

[illegible]

一 般 口 演 抄 録

01

網膜前膜を伴う網膜色素上皮腺腫に対して硝子体手術を行い視力改善した1例

○秋山 雅人(あきやま まさと)¹⁾、田邊 美香¹⁾、
向野 利一郎¹⁾、石川 桂次郎¹⁾、
上笹貫 太郎²⁾、伊地知 佳代³⁾、孝橋 賢一³⁾、
吉川 洋¹⁾、園田 康平¹⁾

1)九州大、2)鹿児島大、3)九州大 形態機能病理学

【緒言】網膜前膜を伴った網膜色素上皮腺腫に対し、硝子体手術を行い視力改善した症例を経験したため報告する。

【症例】28歳の女性。左眼の飛蚊症で近医眼科を受診したところ、眼内腫瘍を指摘され鹿児島大学眼科を受診。受診時の左眼矯正視力は1.2、眼底耳側に黒色調の腫瘤を認め九州大学病院を紹介。その後徐々に見えづらさを自覚し、2週間後に当科を初診した際の矯正視力は0.3と低下していた。耳側赤道部に黒色調の5mm大の亜有茎性腫瘤があり、黄斑部には厚い網膜前膜を認め、視力低下の原因と考えられた。腫瘍はBモードエコーで低反射、MRIではT1高信号、T2低信号で増強効果は認められなかった。¹²³I-IMP SPECTで集積なく、網膜色素上皮腺腫や黒色細胞腫などの良性の色素性腫瘍を疑い、腫瘍切除と増殖膜除去を目的に硝子体手術を行った。病理では、HE染色で腫瘍は網膜色素上皮と連続し脈絡膜への浸潤はなく、メラニン色素に富み細胞質内に空胞形成を有し軽度の異型を伴う細胞が認められた。免疫染色では、HMB-45とMelanAが陽性で、ケラチンは一部で陽性、S-100は陰性であり、網膜色素上皮腺腫と診断した。術後6ヶ月の時点で、矯正視力1.0まで改善し、腫瘍と黄斑前膜の再発は認めていない。

【結論】網膜色素上皮腺腫は網膜前膜を併発することがあり、硝子体手術は視力改善が期待できる有効な治療である。

【利益相反】なし

02

急激に増大したと考えられた眼球内 schwannoma の1例

○中山 知倫(なかやま ともみち)、渡辺 彰英、
外園 千恵
京都府医大

【緒言】Schwannomaは末梢神経鞘を形成するSchwann細胞より発生する良性腫瘍である。大部分が頭頸部に発生するが、眼球内に発生することは稀である。今回我々は、急激に増大した眼球内腫瘍性病変に対して悪性腫瘍を疑って眼球摘出術を行い、病理検査により眼球内Schwannomaと診断された症例を経験したため報告する。

【症例】51歳男性。既往歴に未熟児網膜症、不安症とうつ病があった。生来全盲状態であった。2018年3月より右眼瞼腫脹にて近医眼科を受診、抗菌薬点眼により経過観察されていた。12月に意識消失と痙攣で前医に救急搬送され、搬送原因とは別に右眼球腫脹から腫瘍性病変を疑われ、京都府立医大眼科に紹介となった。当科初診時、巨大な眼球腫脹を認めたが、症状としては時々痛みや痒みがある程度であった。眼球腫脹の原因として、画像からは眼球内腫瘍が考えられた。経過から急激な増大が考えられ悪性腫瘍を疑い、翌年1月に眼球摘出術を施行した。病理組織学的に、淡好酸性の胞体と桿状核を有する紡錘形細胞が束状に増殖しており、所々で柵状配列を認めた。免疫組織学的にS100蛋白(+), EMA(-)を示し、Schwannomaと診断された。

【結論】本症例は、患者が全盲であったことも一因と考えるが、非常に巨大な眼球内腫瘍となつてからの眼球摘出となった。良性腫瘍ではあるがSchwannomaは急激な増大を生じ巨大な眼球内腫瘍となり得る。

【利益相反】なし

[illegible]

第38回日本眼腫瘍学会のご案内

会 期：2020年9月26(土)～27日(日)

会 場：九州大学医学部 百年講堂

会 長：吉川 洋

事務局・運営事務局：

九州大学医学部眼科学講座

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3-1-1

第37回日本眼腫瘍学会 プログラム・抄録集

会 長：敷島 敬悟

事 務 局：東京慈恵会医科大学 眼科学講座

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

運営事務局：株式会社 エヌ・プラクティス内

〒541-0046 大阪市中央区平野町1-8-13 平野町八千代ビル7F

TEL：06-6203-6731 FAX：06-6203-6730

E-mail：js0037-info@n-practice.co.jp

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>